

【プログラム】

■受付開始 8 : 30 ~ (3号館2F)

■自由研究報告 9 : 00 ~ 11 : 30

第1会場（第1分科会）場所 321教室

9 : 00 ~ 9 : 50

- ①【研究報告部門】ソーシャルポリシーにおけるスティグマの位置と様態について
—T.H. マーシャルのソーシャルポリシー論の観点から—

日本社会事業大学大学院2年

松岡是伸

9 : 50 ~ 10 : 40

- ②【研究報告部門】「誘導」の一考察—ソーシャルワークとリバタリアン・パターンリズム論の近似性—

日本女子大学

石川時子

■座長：荒井浩道氏

■コメンテータ：石川到覚氏

第2会場（第2分科会）場所 322教室

9 : 00 ~ 9 : 50

- ①【研究報告部門】市民後見人による支援の公共性に関する研究

東京大学大学院博士課程2年／日本学術振興会特別研究員DC

税所真也

9 : 50 ~ 10 : 40

- ②【研究報告部門】消費税と給付付き税額控除のマイクロシミュレーション分析

群馬医療福祉大学

白石憲一

■座長：新田秀樹氏

■コメンテータ：秋元美世氏

第3会場（第3分科会）場所 323教室

9:00～9:50

- ① 【研究報告部門】女性労働問題とホームヘルプ事業創設との関連
ー通知・通達・議事録などの公文書の分析からー

帝京平成大学

中嶋 洋

9:50～10:40

- ② 【研究報告部門】性風俗関連産業に巻き込まれた子どもの支援をめぐる課題に関する研究ー子どもを対象とした性的搾取の態様と被害に焦点をあててー

立教大学大学院博士前期課程2年

赤嶺恵理

10:40～11:05

- ③ 【萌芽的研究報告部門】婦人相談所一時保護所における職種の実態と課題 その1
ーアンケート調査からー

和洋女子大学
城西国際大学

庄司妃佐
堀 千鶴子

11:05～11:30

- ④ 【萌芽的研究報告部門】北米における女性アルコール依存症者と自助グループ研究の
動向ーフェミニズムからエンパワメントへー

上智大学大学院前期課程2年

月岡 幸

■座長：野城尚代氏

■コメンテータ：堅田香緒里氏

第4会場（第4分科会）場所 324教室

9:00～9:50

- ① 【研究報告部門】知的障害当事者の政策立案への参加・参画に関するー考察
～新たな視座に基づく知的障害当事者「参加・参画モデル」
（協働関係の構築）の検討～

立教大学大学院博士課程後期課程4年／立教女学院短期大学

遠藤美貴

9 : 5 0 ~ 1 0 : 4 0

- ② 【研究報告部門】 私立学校における特別支援教育の体制整備に関する実証的研究
— 「幼小中高一貫」したシステム開発の視点から—

東京学芸大学大学院博士課程3年／成女学園中学校・成女高等学校

田部絢子

東京学芸大学

高橋 智

■座長：小野孝嘉氏

■コメンテータ： 沖倉智美氏

第5会場（第5分科会） 場所 326教室

9 : 0 0 ~ 9 : 5 0

- ① 【研究報告部門】 少年非行・矯正教育分野における発達障害児の実態と支援に関する調査研究

東京学芸大学大学院修士課程2年

内藤千尋

東京学芸大学

高橋 智

9 : 5 0 ~ 1 0 : 4 0

- ② 【研究報告部門】 障害乳幼児支援施策の形成過程—戦後の保健・福祉・教育施策に視点をあてて—

東洋大学大学院博士後期課程3年／福山市立大学教育学部

高橋 実

■座長：高橋一弘氏

■コメンテータ：佐藤信人氏

第6会場（第6分科会） 場所 327教室

9 : 0 0 ~ 9 : 5 0

- ① 【研究報告部門】 市民参加型の在宅緩和ケア体制
—B組織における組織学習過程を通して市民と専門職との協働の可能性を探る—

上智大学

鏑木奈津子

9 : 5 0 ~ 1 0 : 1 5

- ② 【萌芽的研究報告部門】 ソーシャルワーク研究における質的内容分析法の適用

ルーテル学院大学大学院博士後期課程2年

乙幡美佐江

10:15～10:40

- ③ 【萌芽的研究報告部門】終末期ケアにおけるアドボカシーの意味
—ナラティブ・アプローチの視点からの考察—

東洋英和女学院大学大学院博士後期課程

遠藤紀子

10:40～11:05

- ④ 【萌芽的研究報告部門】久坂部羊作品に見る、現代医療・介護・福祉の問題点

筑波大学大学院博士前期課程2年

野田晃生

■座長：田嶋英行氏

■コメンテータ：北本佳子氏

第7会場（第7分科会）場所 328教室

9:00～9:50

- ① 【研究報告部門】夫婦を対象とした予防的心理教育プログラムの開発評価
—インパクト理論の妥当性の検討を中心に—

日本社会事業大学大学院博士後期課程3年
日本社会事業大学

宇野耕司
大島巖

9:50～10:40

- ② 【研究報告部門】保育所保育士における「保護者に対する支援」の現状と課題

東洋大学大学院博士後期課程1年

橘田康世

■座長：山本真実氏

■コメンテータ：中野敏子氏

第8会場（第8分科会）場所 271教室

9:00～9:50

- ① 【研究報告部門】子育て課題を持つ母親の役割をめぐる保育士支援—Z保育所における保育士と母親へのインタビュー調査から—

植草学園大学／東洋大学大学院博士後期課程3年

小川 晶

9 : 5 0 ~ 1 0 : 1 5

- ② 【萌芽的研究報告部門】 0歳児保育を利用する母親の就労と子育てに関する研究
～待機児童のいないA市における実態調査を手がかりとして～

東洋大学大学院前期課程2年
東洋大学

樋口和子
森田明美

1 0 : 1 5 ~ 1 0 : 4 0

- ③ 【実践報告部門】 震災におけるこころのケア活動－医療機関のソーシャルワーカーの活動から－

東京女子医科大学病院／大正大学大学院

小野賢一

■座長：金子恵美氏

■コメンテータ：西郷泰之氏

第9会場（第9分科会）

場所 273教室

9 : 0 0 ~ 9 : 5 0

- ① 【研究報告部門】 健全育成における保護と予防機能に関する分析
－1970年代の母親クラブ役割をてがかりにして－

東洋大学大学院博士後期課程3年／新潟県立大学

植木信一

9 : 5 0 ~ 1 0 : 4 0

- ② 【研究報告部門】 被害者保護からサバイバー支援への転換－米国・ロサンゼルス地域の人身取引問題に対する取り組み－

日本学術振興会特別研究員

佐々木綾子

1 0 : 4 0 ~ 1 1 : 0 5

- ③ 【萌芽的研究報告部門】 住居不安定をとまなう生活困窮者に対する住まい支援の課題
－地域社会の包摂に向けて－

首都大学東京

小田川華子

■座長：菱沼幹男氏

■コメンテータ：月田みづえ氏

第10会場（第10科会）

場所 276教室

9:00～9:50

- ① 【研究報告部門】1920年代の東京市における教育救済事業に関する歴史的研究
—関東大震災と震災復興事業を中心に—

東京学芸大学大学院修士課程2年
白梅学園大学
東京学芸大学

石井智也
石川衣紀
高橋 智

9:50～10:15

- ② 【萌芽的研究報告部門】精神保健福祉領域におけるリカバリ論の興隆に関する一考察
—わが国における障害受容論との比較に焦点を当てて—

筑波大学大学院博士前期課程2年
筑波大学

木原亜季
結城俊哉

10:15～10:40

- ③ 【萌芽的研究報告部門】自立生活センター介助サービス利用者・介助者間における問題共有意識の検討—性をめぐる介助活動に焦点をあてて—

筑波大学大学院博士前期課程2年
筑波大学

北川 優
結城俊哉

~~10:40～11:05~~

- ~~④ 【萌芽的研究報告部門】若者自立支援型社会的企業Aへの調査に関する中間報告~~

~~横浜市北部児童相談所~~

~~宮竹孝弥~~

■座長：贄川信幸氏

■コメンテータ：坂本智代枝氏

第10分科会第4報告は、発表辞退となりました。

■■ 昼食・休憩（運営委員会） ■■ 11:30～12:30

（運営委員会：3号館1F鴨台プロジェクトセンターでおこないます。）

■■ 学会奨励賞受賞者講演 ■■

『生活保護は最低生活をどう構想したか～保護基準と実施要領の歴史分析～』

神奈川県立大学 岩永理恵氏

場所 多目的コーナー

12:30～13:00

■■ 基調講演 ■■ 場所 多目的コーナー

13:10～14:00

「生活再建と住宅・福祉～ソーシャルワーク実践・研究への期待」

講演者：大本圭野氏（元東京経済大学教授・生命地域研究所代表）

■■ シンポジウム ■■ 場所 多目的コーナー

14:10～17:00

テーマ

「被災地の生活支援、生活再建におけるソーシャルワーク実践、研究の役割と課題～ソーシャルワーク実践・研究に何ができるのか～」

【シンポジスト】

- ・ 被災地のソーシャルワーカー実践から：山田美代子氏
(日本医療社会福祉協会)
- ・ 被災地の子ども支援で見えてくる生活再建の道筋：森田明美氏
(東洋大学)
- ・ 福島の支援とコミュニティデイベロプメント：佐藤信人氏
(武蔵野大学)
- ・ 国際NGOの支援活動とソーシャルワークの課題：西郷泰之
(大正大学)

(コーディネーター)

山田知子氏 (大正大学)

岡部 卓氏 (首都大学東京)

■■ 総会・関東部会研究大会奨励賞授与式 ■■

場所 多目的コーナー
17:00～17:30
